

谷村藩主秋元公三代と日光東照宮
城下町より東照宮と円通院

(2) 秋元富朝と日光東照宮

泰朝の功績を受け継いで代々の秋元家当主は日光東照宮の修造管理に当たっている。谷村藩二代目の富朝は、日光山火番となり、再三將軍の日光社参に供奉している。

富朝の治績としては、富士山の雪崩を防ぐために富士北麓に大規模な植林を行い成功して、現在も富士浅間神社に

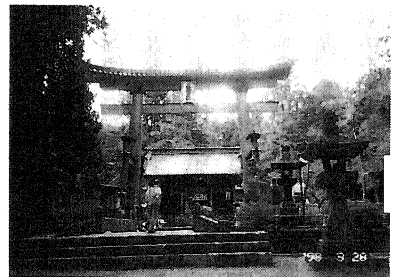


写真7 富士浅間神社

に嫁がせ、後に、この外孫の男子喬朝を養子として迎えている。

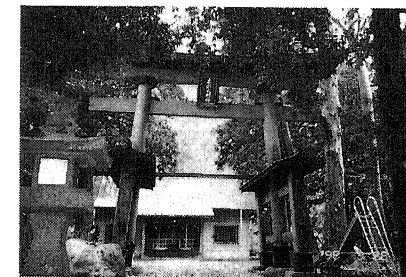


写真8 生出神社

慶安四年（一六五二）四月二十日、將軍家光が薨^なると遺命により日光山に遺骸を収める奉るべく大猷院靈廟（家光廟）を造営し、その法会に参列しているが、明暦三年（一六五七）六月十七日四十八歳の若さで富朝は亡くなっている。

隣接する地に「諏訪の森」として残っている。

このため谷村地内の四日市場にあった諏訪神社に、男子出生を祈願して社名を「生出神社」と改名して信仰したが、男子出生の願いは叶わず女子を三河田原藩主戸田忠昌